

令和6年(2024年)度事業計画 2024年4月1日から2025年3月31日まで

一般社団法人国際ソーシャルワーク協会

令和5年(2023年)4月25日に設立された一般社団法人国際ソーシャルワーク協会は1年を経過しようとしている。関係者の支援と協力により、新たな年度を迎えることができたことに感謝したい。そして、2024年度は組織の充実と活動の充実を目指して、定款に基づく事業の活性化に努めたい。

基本方針

一般社団法人国際ソーシャルワーク協会は、2023年5月10日(登記開始日、4月25日に創設された。同法人の定款で、設立目的を以下のように述べている。

(目的)第3条 この法人は、日本国内及びアジア太平洋地域等におけるソーシャルワーク専門職及び当該専門職団体の組織化と機能の強化を目的とし、国際ソーシャルワークの開発支援、国際交流、調査研究、教育研修等を通じて、これらの国々における人権の擁護と福祉の増進に寄与することを目指す。

(事業)第4条 この法人は、前条の目的を達成するため次の事業を行う。

- (1) 国際ソーシャルワークの実践及び調査研究
- (2) 国際ソーシャルワークの教育・研修を通じた普及啓発
- (3) 国際ソーシャルワークに関する情報提供及び関係組織との連絡調整
- (4) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

定款が示す目的と事業の内容を踏まえ、設立2年目を迎える法人は、事業計画を立て、目的を実現すべく、基本方針と事業の実施を予定している。

2024年度重点項目

2024年度は以下に掲げる項目を重点に掲げ、活動の充実を図る。

1. 【会員募集に向けた国の内外に対する広報活動】HPの刷新・拡充を含め、法人の活動目的を広く周知する。また、会員の増加を目指し、広報活動を行う。
2. 【法人事業の実施】会員および公共の福祉の増進を目指し、法人事業を推進する。また、定款に掲げる活動目的に沿って、関係団体との連携を図り法人活動の促進を図る。
3. 【活動の基盤となる助成金申請・獲得の努力】2024年度の法人活動を見据えて、民間助成金の獲得に努め、法人事業とともに助成金による国際(国内の国際化も含む)を実施する。
4. 【組織基盤の充実】組織基盤の充実を目指し、新規入会者の増員を図る。さらなる会員のニーズに応えるべく、HPの刷新と充実、法人事業活動の充実に努める。
5. 【関係団体との連携】関係団体である日本ソーシャルワーク学会、日本社会福祉士会、日本精神保健福祉士協会、日本医療ソーシャルワーク協会、日本ソーシャルワーカー協会、国際ソーシャルワーカー連盟アジア太平洋地域支部との連携を図る。

【理事会・総会】 オンライン方式とのハイブリッドによる開催を予定

第1回 2024年6月18日 第1回定時理事会 設立総会を兼ねる 会場:東洋大学赤羽台キャンパスで開催

第2回 2024年9月 第1回臨時理事会 ハイブリッドによる開催

第3回 2024年12月 対面で開催 会場予定:日本女子大学110年館で開催

第4回 2025年3月 第2回定時理事会 ハイブリッドで開催

【法人による主な事業】

1) 【春の講演会】

法人の存立の目的、広報、新規入会者、入会に関心のある人々に広く法人の活動の周知や広報を目指して開催する。

開催場所：東洋大学赤羽台キャンパス。

規模：参加者50名を予定。

主題講演の演者：桂良太良教授（元立命館大学国際関係学部国際インスティテュート教授、ハノイ国家大学客員教授）

懇親会を通じて法人設立・活動やプロジェクトの紹介も行う。

2) 【電子ジャーナル】『国際ソーシャルワークジャーナル：International Social Work Journal 2024年発行の準備（2024年5月の理事会までに募集要項を準備）

検討課題：企画委員、特集記事を設けるか、執筆者（依頼原稿ありかなし）、原稿募集と査読、テーマの設定、体裁、既にISSN番号の取得他の準備を完了している。投稿規定に基づく論文や事例研究などの投稿を募集する。（日英両言語を採用。）

3) 【学術集会】

開催目的：会員募集の方法と若手SWの参加の促進

会場：日本女子大学

テーマ：変動する社会と求められる国際ソーシャルワークの課題

プログラム：国際ソーシャルワークの関連分野の研究報告および事例発表を主として構成

日程：11月末または12月初旬を予定

【民間助成金による事業】

3) 【東芝国際交流財団による助成金事業】「南アジアの社会福祉従事者の人材育成ワークショップ：スリランカ」（一般社団法人国際ソーシャルワーク協会の事業として実施、ワークショップ運営はスリランカソーシャルワーカー協会が行う。）

助成金予算：150万円。

日程：9月2日、3日：スリランカ、コロンボ

会場：ジャナキホテルにて開催

参加者：現地の60名の専門職、教育者、研究者、学生らの参加を予定している。

テーマ：「変容する日本と南アジア諸国における社会福祉政策とソーシャルワークの課題」

目的：日本と南アジアの演者が登壇。参加者は講義を聞いた後、ディスカッションに参加し、参加者が文化や社会背景、社会問題、専門職の養成課題について理解を深める。また、今後の日本および南アジア諸国の専門職の資質向上や教育に資することを期待している。

4) 【トヨタ財団国際助成金によるプロジェクト】「テーマ：「アジアの共通課題と相互交流—学びあいから共感へ—」カンボジア・ベトナムの子ども家庭福祉ソーシャルワーカーの人材育成プログラムの開発と実施。助成金：2年間で850万円。（2023年11月から2025年10月）ベトナム、カンボジアでワークショップ開催、日本国内の研究チームは国内で調査・研究を実施。（★本プロジェクトは国際ソーシャルワーク研究会予算として運営）